



地域おこし協力隊

## つれづれ日記

綾ユネスコエコパークセンターが開所して、あっという間に1カ月が過ぎました。新聞やテレビニュースなどで紹介されたこともあり、まちの皆さんをはじめ県内外から多くのご来館をいただいています。

センターは「知る・調べる・つなぐ」をコンセプトに作られました。展示物を観て、綾ユネスコエコパークについて「知り」、疑問に感じたことを「調べ」、視察などで来館された皆さんを目的地や人物へ「つなぐ」。そうした狙いで作られたので、多くの人が集い発信する場所になるよう、センターの充実を図らなければと思っ

ています。

子どもが展示室を見学に訪れた時には、昔と今の自然環境の違いを説明し、これからどうしたら良いかを考えられるように話しています。また、昔のまちのことを詳しく話された来館者もいらつしやいました。自分の知らない新しい情報に触れるのは新鮮で、とても勉強になります。センターは過去と現在、未来をつなぐ場所でもあるんだなあ、と実感しています。

皆さんとセンターでお会いできるのを楽しみにしています！

研修室や調理実習室は有料で使用申請が必要ですが、1階の展示室は入館無料です。で開館時間内は自由にご覧ください。

綾町地域おこし協力隊

曽我 傑

## column

### フクロウ

知名度も高く、私たちの身近にいなから、夜行性のため姿を見ることができない「森の哲学者」。

春の闇夜に「ホッホー、ゴロスケホッホー」と独特のリズムの鳴き声が聞こえてきたら、数キロの範囲内に彼らが来ている証拠です。ミミズクのような羽角(耳のような羽)はなく、だるま顔で、眼が前面についているため視野が狭く、それを補うために首が180度回転します。

羽の先には細かいギザギザがあり、音もなく飛び獲物を捕らえることができます。この羽の空気抵抗を減らす構造は、新幹線の車体にも応用され、騒音問題解決に役立てられています。

